

研究テーマ

(三次中学校区)

主体的な学びにつながる自己指導能力の育成

(河内小学校)

伝え合うよさを実感できる表現力の育成

～児童の資質・能力の向上を目指したキャリア教育の視点における評価方法の開発を通して～

本校区で育成したい資質・能力

コミュニケーション能力	協調性	主体性
自分の考えをもち、他者の思いを受け止め、言葉で伝え合うことを通して、互いを理解し、認め合える。	目的と目標を共有し、目標達成のために、自らの役割を理解し、他者と協力できる。	自らの夢と志をもち、自ら行動し、積極的に他に貢献しようとする。

総合的な学習の時間学習指導案

三次市立河内小学校

教諭 黒田 珠央

- 1 日時・場所 令和5年6月28日(水) 5校時 3・4年生教室
- 2 学 年 第3学年 1名
第4学年 3名
- 3 単 元 名 三次中学校区オリジナルカリキュラム「校区まちガイド」
「ふるさと・発見」～河内の自慢を見つけよう～

4 単元について

(1) 単元観

本単元は、三次中学校区の地域自慢について主体的に調べ、地域のよさに気付き、地域の一員として地域への思いを深めることをねらいとしている。本地域は、近くに西城川などの自然、ぶどう農園、神社、神楽など自然や古くから伝わる伝統などがある。また、地域を活性化させようと努力されている人々や団体もいる。これらの地域の特色について考えることをきっかけに、河内地域の素晴らしさに気付き、地域の一員としての自覚や愛着が高まる単元であると考えている。

(2) 児童観

本学級の3年生児童は、昨年2年生の生活科の「もっとなかよしなかよしまちたんけん～こうちのじまんをしょうかいしよう～」の学習で、地域の方との交流を通して河内地域への愛着や理解を深めてきた。4年生児童は、昨年、穴笠地域を中心に「地域の自慢」を調べ、ゲストティーチャーから話を聞いたり地域巡りをしたりしたことで、地域についての理解が深まった。どちら

の学年も、調べたことを壁新聞やプレゼンテーションで他者に伝える活動を行った。他学年にわかるようにするにはどうすればよいかなどアイディアを出し合いながらプレゼンテーションを作ることができていた。しかし、伝えたいことへの思いはあるが、プレゼンテーションをする際どのようにカードで表現すれば、より効果的に伝えたいことが伝わるのか、深く吟味するまでには至っていない。

(3) 指導観

今年度は、山家・西河内地域を中心に「河内の自慢」を見付ける活動を行う。昨年度の発表や発表後にとった全校アンケート等を基に、より相手に効果的に伝えるためにはどのようにすればよいのか考えさせ、河内の自慢を他校の友だちにプレゼンテーションすることをゴールに、相手意識をもたせながら活動を進めていく。また、ゴールに向けて計画表を作成し、児童に示したルーブリックに対しての「できた度」を振り返らせ、児童につけたい資質・能力を常に意識させながらゴールに向けての活動へ繋げていきたい。

(関連) 第3学年 社会「わたしのまち みんなのまち」「ポスターをよもう」

第4学年 国語「アップとルーズで伝える」「パンフレットをよもう」

5 単元の目標

○河内地域の産業、人などについて調べたことを河内の自慢として他校の友だちにプレゼンテーションすることを通して、河内地域の自然、産業、歴史的建造物のよさや特色を理解し、他校の友だちに分かりやすく伝えるときともに、地域のよさを見付け、愛着をもつことができる。

(第3学年)

○三次地域の環境や産業、人などについて今と昔を比べながら調べ、河内の自慢として他校の友だちにプレゼンテーションすることを通して、三次地域の自然や産業、歴史的建造物のよさや特色を理解し、他校の友だちに分かりやすく伝えるときともに、地域のよさを見つけ、愛着をもつことができる。(第4学年)

6 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 河内地域には、自然、産業、歴史的建造物などがあり、それぞれのよさや特色があることを理解している。 ② 課題解決のために、インタビューやインターネットなどの中から適切な方法を選んで調べたり、必要な情報を整理・工夫してプレゼンテーションソフト等にまとめたりしている。 ③ 河内地域の自然、産業、歴史的建造物などのよさや特	① 河内地域の町のよさや特色について、学習課題や学習計画を考えている。 ② 河内地域の自然、産業、歴史的建造物の情報について、多様な方法で収集している。 ③ 学習課題に必要な情報を選んだり、複数の情報を比べたり関連付けたりしながら解決に向けて考えている。 ④ 調べたことをもとに、河	① 自分の考えを見直したり、他者の考えを認めたりしながら、河内地域のまちのよさや特色について調べてまとめようとしている。 ② 河内の自慢が他校の友だちに向けて伝わるよう、自他のよさを生かしながら協力してプレゼンテーションを作成しようとしている。 ③ 河内地域の自慢調べを通して、地域との関わりを深め、地域の一員としての自覚をもとうとしている。

色の理解は、ゲストティーチャーとの地域巡りを通して探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。	内地域のまちのよさや特色について、他校の友だちに分かりやすく表現している。	
---	---------------------------------------	--

7 単元で育成したい資質・能力の具体的な児童の姿

コミュニケーション能力	協調性	主体性
自分の意見を持ち、異なる意見や他者の考えを受け入れて、言葉で表現し合うことを通して、互いの共通点や相違点に気付く、認め合える。	課題解決のために自らの役割を意識して、協働することができる。	進んで課題に取り組み、積極的に友だち、学級、学校、地域のよさを見付け、他者に伝えようとする。

8 単元計画（16 時間）

	学習活動（時）	知	思	主	評価規準	資質・能力について
課題設定	河内の自慢を調べ、発表するまでの計画を立てる。（2）		○		思①河内地域の町のよさや特色について、学習課題や学習計画を考えている。	進んで課題に取り組み、積極的に友だち、学級、学校、地域のよさを見つけ、伝えようとする。（主体性）
調べる	河内の五つの地域のよさについて知る。（2）	○			知①河内地域には、自然、産業、歴史的建造物などがあり、それぞれのよさや特色があることを理解している。 思②河内地域の自然、産業、歴史的建造物の情報について、多様な方法で収集している。	進んで課題に取り組み、積極的に友だち、学級、学校、地域のよさを見つけ、伝えようとする。（主体性）
体験活動	ゲストティーチャーと地域巡りをし、地域のよさを知る。（5）			○	主①自分の考えを見直したり、他者の考えを認めたりしながら、河内地域のまちのよさや特色について調べてまとめようとしている。 知③河内地域の自然、産業、歴史的建造物などのよさや特色の理解は、ゲストティーチャーとの地域巡りを通して探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。	進んで課題に取り組み、積極的に友だち、学級、学校、地域のよさを見つけ、伝えようとする。（主体性）

まとめ	わかったことをまとめ、表現する。 (5) 【本時2／5】	○	○	知②課題解決のために、インタビューやインターネットなどの中から適切な方法を選んで調べたり、必要な情報を整理・工夫してプレゼンテーションソフト等にまとめたりしている。 思③学習課題に必要な情報を選んだり、複数の情報を比べたり関連付けたりしながら解決に向けて考えている。 主②河内の自慢が他校の友だちに向けて伝わるよう、自他のよさを生かしながら協力してプレゼンテーションを作成しようとしている。	課題解決のために自らの役割を意識して、協働することができる。 (協調性) 自分の意見を持ち、異なる意見や他者の考えを受け入れて、言葉で表現し合うことを通して、互いの共通点や相違点に気づき、認め合える。(コミュニケーション能力)
発表・ふりかえり	「河内地域の自慢」を発表する。(2)	○	○	思④調べたことを基に、河内地域のまちのよさや特色について、他校の友だちに分かりやすく表現している。 主③河内地域の自慢調べを通して、地域との関わりを深め、地域の一員としての自覚をもとうとしている。	進んで課題に取り組み、積極的に友だち、学級、学校、地域のよさを見つけ、伝えようとする。(主体性)

9 本時の展開

(1) 本時の目標

○これまで調べてきた情報を整理してロイロノートでまとめ、伝え方について改善策を伝え合うことができる。

(2) 本時の評価規準

○調べたことをもとに、河内地域のまちのよさや特色と自分達の生活とを関連付けて考え、よさや特色について自分の考えを適切に表現している。(思・判・表)

(三つの資質・能力について)

○自分の意見を持ち、異なる意見や他者の考えを受け入れて、言葉で表現し合うことを通して、互いの共通点や相違点に気づき、認め合える。(コミュニケーション)

(評価基準)

A 評価	河内・三次の環境や産業、人などについて伝えたいことを発表し、相互評価し合うことができる。
B 評価	河内・三次の環境や産業、人などについて伝えたいことを発表し、伝え合うことができる。
C 評価	河内・三次の環境や産業、人などについて調べ、友だちに伝えることができる。

(児童に示すルーブリック)

A	自分の作ったカードをわかりやすく友だちに伝えることができた。そして、友だちの作成したカードや発表についてよいところを伝えたり、アドバイスしたりすることができた。
B	自分の作ったカードをわかりやすく友だちに伝えることができ、自分の伝えたいことが友だちにわかってもらえた。
C	自分の作ったカードを友だちに伝えたが、自分の伝えたいことがうまく伝わらなかった。

(3) 準備物

- ・電子黒板
- ・ふりかえり表

(4) 学習の展開

	学習活動	指導の手立て・留意点 ○指導上の留意事項 ☆キャリア教育の視点 から見た重要なこと	評価規準 (評価方法)
導入	1 河内地域の特色について確認する。 ・自然（西城川や農園） ・人（見守り隊の方、読み聞かせ、地域を活性化しようとしている人、歴史を知っている人） ・もの、建物（亀山城跡、西善寺、福善坊など） ・歴史（穴笠神楽、祭り、行事） 2 課題を把握する。 ロイロノートを使って、発表準備をしよう。 ○よさが伝わるようにするには、どんな工夫をすれば良いか考える。	○学習計画表をふり返し、本時で何をするのか見通しをもたせる。 ○昨年度の発表カードの改善点を考えさせる。（全校アンケート、5・6年生の発表カードとの比較など） ○文字の大きさ、文字の色、背景色、写真の使い方（アップとルーズなど）を工夫させるようにし、板書しておく。 ☆ルーブリックの確認をする。	
展開	3 ロイロノートで作成する。 4 友だちに見てもらい、アドバイ	○「河内のことを知らない友だちに伝わるように」という視点を意識させながら	○調べたことを基に、河内地域の

	スし合う。	レゼンテーションを確認させ、感想を伝えさせる。	まちのよさや特色と自分達の生活とを関連付けて考え、よさや特色について自分の考えを適切に表現している。（ロイロカード、発言）
まとめ	5 学習を振り返る。 ・今日できるようになったこと。 ・次に生かせそうなこと、やってみようと思うこと。 ・文字を見やすくするには。 ・ノートを増やしてもいいかも。 ・クイズを取り入れると楽しく聞ける。 ・写真を入れると言葉を短くできる。 ・詳しく知りたいことができた。インタビューしてみたい。	○本時の成果と次時への見通しを書き表させ、達成感や学習意欲をもたせる。 ○ルーズブリックで自己評価する。	